

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	・長期休暇時など児発の開所時間と重なる時には活動する部屋が限られる。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	・早下校時の送迎の人員が足りない時がある。 ・児発の利用時間と放デイの送迎時間が重なるので送迎に行く職員が足りない。 ・基準は満たしているが、時間帯によってはかなり工面しながら、質を保つことに努力している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	・放デイ業務終了時間と職員の勤務時間が同じため、全職員で振り返る時間はない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	・外部評価が行われているのか知らない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	・研修がなかなか出来ない現状、もう少し研修に充てられる時間があると良い。 ・幼児期と学童期は根本は同じでも年齢や発達状況により全く異なるものと思うので、本来であればもっと深めた資質向上の時間を捻出したい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・外出、製作など日や利用者によって適切な活動が考えられている。 ・固定化しないように考えているが、人数が限られており、活動も限られてくる。 ・できる限りの工夫をしている。しかし過剰にプログラムを供給するのは、生徒本来の成長する機会を奪うことになるので、そこは考えながら立案するようにしている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けたそれぞれの課題を把握し、職員が関わっている。 ・きめ細やか設定したいが、それを支援する職員が足りない。 ・きめ細かく設定することもあるが、将来的に生徒自らで考えて過ごせるようになることも大切な支援と位置づけて、活動の流れを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時にできている。 ・送迎、勉強、見守り等細かく役割分担ができています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・時間の都合上全員【児発職員も含めて】振り返りを行うことが難しいので、把握できていない情報があると感じます。 ・全職員で振り返りをする時間がない。 ・時間の捻出が難しいが、療育を進める上で最重要部分と捉えている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング前に職員で話し合い、モニタリングや個別支援に活かすことができています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・学校への早迎えの対応等、保護者にも協力していただき、事業所でできることを行っている。 ・現行のニーズに即するならば、学校終了後の送迎は重要業務なので、常に情報把握と適切な運行立案に努めている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	該当する利用者がいない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	・今年学校を卒業する利用者があるため、必要となれば情報提供したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	・本体ならば実践したいが学童期になると生活も含めて、支援の中心は学校(保護者)になるので、センターとの連携は難しくなる傾向がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・送迎時や連絡帳でその日の出来事(良い部分ばかりでなく)を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	・アドバイスをすることはあるが、ペアトレはしていない。 ・事業所としても担いたい部分ではあるが、学童期になると保護者の参画も少なくなる傾向がある(学校中心)。となると…保護者対応力云々の話は薄くなり、事業所としてそこを掘り起こすのは難しくなってくる現実がある。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・必要があれば保護者からの投げかけに対しては適宜対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3		・会報ではないが、重要なお知らせ等は文章(プリント)にして伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4		・大々的な行事はしていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・児発と合同避難訓練を行っている。 ・長期休暇中に放デイ利用者も参加して行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			

実施期間：令和5年12月 回答数： 5 (回答率 84%)